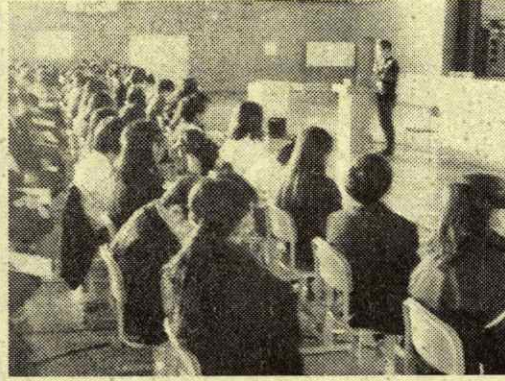


大志ゆめみん



～ 11月の学校の様子 ～



<人権教育月間>

11月を人権教育月間と位置づけ、各学年で、身近な差別や部落差別などについて、道徳の時間などで人権学習を深めました。また、市の人権共生課の方を講師

にお呼びし、性の多様性についてお話をお聞きしました。お話の中では、アメリカのある SNS では、男女の性差だけでなく、「X ジェンダー」「ノンバイナリー」など58ものジェンダーを受け入れているということもお聞きしました。(ジェンダーとは、生物学的な性とは違い、社会的・文化的につくられている性のことを指します。)私たちの生活においても、「みんな違っていい」が当たり前のこととして受け入れられよう、さらに学習を深めていきたいと思えます。

<生徒会役員選挙>

来年度の生徒会正副会長を決める、生徒会役員選挙の立会演説会と投票が行われました。どの立候補者も、自分が当選したら取り組みたいことをしっかりと表明していま



した。演説会后、市からお借りした実際の記載台と投票箱を使い、一人一人の思いを込め、投票をしました。

即日開票で、新生徒会正副会長が決まり、翌日、認証式も行われ、今後、各委員会の正副委員長などが決まります。1月からは新生徒会が、スタートします。

<心が温かくなるいい話>

島内小学校の教頭先生から、次のような電話をいただきました。

「本日朝、島内小学校勤務の先生が、松島中学校東の信号付近を通りかかると、お年寄りが転んでしまったのか倒れていて、心配で様子を見に行くと、登校途中の複数の中学生男子が、「大丈夫ですか」と心配して声をかけていたそうです。その先生は、そんな中学生の姿に心が温かくなったと、職員室で話をしてくれたので、お電話しました。」



【新人戦中信大会の結果】

<野球> 松島・波田・梓川合同チーム 3-11 NTBクラブ

<陸上> 男子1年砲丸投げ 1位 8m20

<男子バスケットボール> 松島37-43高瀬 松島14-58鎌田

<女子バスケットボール> 松島25-63豊科南 松島41-40明科
松島24-54清水 松島16-62明善

<男子バレーボール>

【予選グループ戦】 松島2-0丸ノ内 松島2-0塩尻・塩尻西部 グループ1位で決勝トーナメントへ
【決勝トーナメント】 2回戦 松島2-0木曾町1 3回戦 松島2-0豊科北
準決勝 松島1-2清水 3位決定戦 松島2-0菅野 中信3位

<女子バレーボール>

【予選グループ戦】 松島2-0山辺 松島0-2南木曾 グループ2位で決勝トーナメントへ
【決勝トーナメント】 1回戦 松島2-1白馬 2回戦 松島0-2塩尻

<男子テニス>

【個人戦】 1年 優勝1ペア 3位1ペア 2回戦2ペア 1回戦2ペア
2年 3位1ペア ベスト81ペア 3回戦3ペア 2回戦2ペア
【団体戦】 [予選リーグ] 松島3-0菅野 松島3-0穂高東B 松島3-0豊科南
[決勝トーナメント] 松島2-1穂高東A 松島0-2鉢盛 松島2-0三郷 中信3位

<女子テニス>

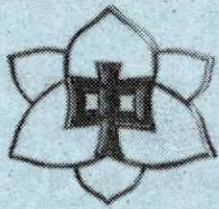
【個人戦】 2年生の部 ベスト8 1ペア 1年生の部 ベスト16 1ペア
【団体戦】 [予選リーグ] 松島3-0日義 松島2-1穂高西 松島3-0豊科南
リーグ1位で決勝トーナメント進出
[決勝トーナメント] 1回戦 松島3-0丘 2回戦 松島2-1穂高東
準決勝 松島2-0筑摩野 決勝 松島1-2広陵 中信2位

<剣道>

【個人戦】 男子 3回戦進出1名 2回戦進出1名 1回戦敗退1名
女子 2回戦進出4名 1回戦敗退2名
【団体戦】 男子 予選リーグ3位で敗退
女子 予選リーグ2位で決勝トーナメント進出 決勝トーナメント1回戦敗退 ベスト8

～ 12月の予定 ～ *予定は、変更することがあります。

- 保護者懇談会(4~11日)
- 生徒総会(15日)
- 2学期終業式(25日)
- 年末年始休業(26~1/8日)



大志ゆめみん



保護者アンケートへのご協力に感謝申し上げます。

保護者懇談会の期間中に保護者アンケートを実施しましたところ、147件の回答をいただきました。ご多用のご協力いただき、感謝申し上げます。ありがとうございました。

保護者アンケートと同様の趣旨で、1月に生徒アンケートを実施します。その集計を待って、両者のアンケート結果をまとめたものを後日お伝えします。今回は、保護者アンケートの自由記述でいただいたご意見について、一部についてですが、学校としての考えをお伝えさせていただきます。

【学習指導】

「落ち着いて授業に取り組める環境を」「タブレットの使用を家でも認めてほしい」「各種検定を学校で受けられるようにしてほしい」などのご意見がありました。

学力を向上させるには、落ち着いた環境の中で学びを深めることが大切です。落ち着いて学習に取り組むことが困難な生徒がいる場合は、その都度教科担任や学級担任が指導をしています。同時に、教師自身も自分の授業を常に見返し、生徒にとって魅力ある授業になっているかを問い直す必要があります。全校が落ち着いた学習環境となるよう粘り強く取り組んでまいります。

タブレットの使用につきましては、生徒が自宅でタブレットを使用して課題に取り組む必要があると教師が判断した場合や学校に登校しづらい生徒がリモートで学校とつなぐ場合などにタブレットをご家庭で使用していますが、ご意見にあるように、さらにタブレットの活用が進むように、検討をしていきます。

各種検定につきましては、民間団体が主催するものであり、多くが休日に行われるため、職員が監督することが難しい現状です。学校で実施することをお約束することができないことをご理解いただければと思います。

学習指導について、様々なご意見をいただきました。生徒の実態をとらえながら、教科会等において、生徒自らが主体的になり学習内容に興味関心を示せるような授業の工夫や、メリハリのある授業展開、振り返りを充実させ学習内容の定着につながるよう、指導の充実を図ってまいります。

【生徒指導に関わって】

「職員間の連携が不足しているのではないか」「生徒の自主性を尊重してほしい」「ルールを守らない生徒への指導を厳しく」「子どもの声を聞く機会を多くしてほしい」などのご意見が寄せられました。

生徒の様子に関わる情報共有は、職員会議、学年会や校内情報システム等を利用して行われています。また、生徒指導委員会などの委員会も定期的に開催し、組織として事案に対応するようにしています。ご意見をいただいたような不十分と感じられることは反省とし、さらに密に連携を図ってまいります。

生徒の自主性を伸長するものとして、生徒会活動、学級活動、部活動などがあります。そういった場では、できるだけ生徒の考えや思いを尊重するように考えています。例えば、今年度の文化祭に向け、生徒会から新しい企画案が出され、職員会議で検討し、さらに、校長が生徒会役員からその企画への思いや具体策を直接聞き、校長からは学校としての要望も伝え、双方納得の上で、生徒会が考えた企画を文化祭で行うことになりました。生徒の考え通りに進めることが難しいこともありますが、きちんと生徒の考えを聞き、考えの相違があるときは丁寧に説明する

など、話し合いを深めながら進めていきたいと考えます。また、生徒相談等、生徒の悩みや思いを聞く機会も定期的に設定していきます。

生徒指導に関して、保護者の皆様にもご心配をおかけすることがあり、大変申し訳ありません。生徒指導事案への対応として、学級担任だけでなく、学年、生徒指導係、教頭や校長も関わるなど、組織として対応しています。生徒指導上の事案が生じた場合には、保護者の方のご協力もいただき、生徒を信じて粘り強く、繰り返して指導を行っていきますので、ご協力をいただきますよう、お願いいたします。

【部活動に関して】

「外部指導者の導入」「保護者の関わり方」「社会体育との関係」などのご意見をいただきました。

保護者の方には部活動の運営に関わって、ご理解とご協力をいただいております。顧問の指導方針を生徒、保護者の方々に伝え、必要に応じ保護者会を開催し、部活動についてご理解をいただくよう努めておりますが、気になることがありましたら、顧問にご相談いただいたり、保護者会でお話しいただくようお願いいたします。

部活動は、職員の勤務時間外に行われることが多く、また、職員が経験のない部活動の指導を担当することもあります。そして、松本市でも部活動の地域移行の動きがあります。そのような状況で、部活動指導員・外部指導者を積極的に受け入れていきたいのですが、なかなか見つかりません(現在、部活動指導員3名、外部指導者4名)。地域移行の動きとも相まって、部活動指導員や地域の受け皿がありましたら、学校にお知らせください。

【情報提供】

「学級、学年の様子あまり伝わってこない」など、学校からもっと発信してほしいのご意見をいただきました。

学校の様子をお知らせする手段として、学級通信、学年通信、学校だよりなどがあります。また、今年度、PTAからのご要望もあり、通常の授業参観に加え、1学期と2学期に学校公開期間を2週間ずつ設け、授業以外の時間も含め、自由に学校の様子をご覧いただきました。この間、合計約80名の方にご来校いただきました。このような学校の現状をお伝えしたり、ご覧いただいたりする機会をこれからも大切にし、保護者の皆様方に学校の「今」を知っていただき、ご理解とご協力を得ていきたいと思っております。

【全体を通して】

個人情報に関わることや紙面の制限もあり、いただいたご意見の一部にしかお答えできていないことを、大変申し訳なく思います。このようなアンケートの時だけでなく、学校へのご意見やご要望はいつでもお聞きしますので、今後ともよろしくお祈りいたします。

アンケートの結果は学校全体で共有し、改善すべきは改善するように努めてまいります。保護者の皆様方のご要望すべてにすぐにお応えできないこともあり、心苦しい思いもありますが、今回いただいたご意見を真摯に受け止め、着実に改善を図ってまいります。

今後も職員一丸となって、学校運営に当たって参りますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

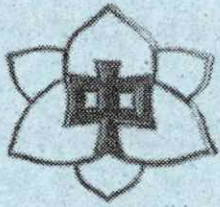


今年もお世話になりました。
よいお年をお迎えください。



～ 1月の予定 ～ *予定は、変更することがあります。

- 3学期始業式(9日)
- 第5回総合テスト(10日)
- 新入生保護者説明会(15日)
- 資源物回収(14、28日)
- 授業参観日・PTA理事会④(29日)



大志ゆめみん



新年あけましておめでとうございます。

～3学期始業式 校長講話より～



あけましておめでとうございます。

みなさんの冬休みは、どうでしたか？ 楽しめましたか？ 勉強しましたか？ 健康でいましたか？

新年早々、災害や事故が報道されました。1日には、能登半島地震が発生しました。この時、私は自宅の自分の部屋にいて、すぐにおさまらさうと思っていたら、思いのほか長く、大きく揺れたので、不安を感じました。揺れが落ち着いてテレビを見て、大きな地震だったことを知りました。現在も救出活動が続いていますが、報道のたびに亡くなった方の数が増えていくのは辛い思いがします。

また、2日には、羽田空港で飛行機の衝突事故がありました。旅客機に乗っていた方々が無事だったことは幸いですが、能登半島地震の支援活動に向かおうとしていた海上保安庁の5名の方が亡くなっています。

新年早々に起きたこの二つの災害と事故を通じて、私が考えたことは、「家族」についてです。

能登半島地震では、多くの方が年末年始で実家に帰省していたところで被害に遭われたとの報道がありました。中には、家族で帰省していたところ、お一人を残して全員が倒れた家屋の下敷きになり、亡くなったり、安否がわからないというご家族のことが報道されていました。

羽田空港の事故では、亡くなった5人の方々の中に結婚して間もない方がいたとの報道がありました。新年を家族と迎えていたところに能登半島地震があり、海上保安庁職員の仕事として家族をおいて仕事に向かい、家族も新年早々の仕事で大変だと思いつつも、仕事が終わったら帰ってくると信じて送り出し、それが帰らぬ人となってしまった。ご家族はどんな思いをしているかと思うと、これもまた、辛く悲しい思いがします。

私が能登半島地震の揺れが収まった直後にやったことは、家族が大丈夫かという確認と、富山市に住んでいる兄夫婦に電話をして、無事を確認したことです。やはり、家族のことが真っ先に頭に浮かんでいました。

今までも多くの災害や事故がありました。若い頃は、事故や災害があっても情報としての受け止めだったように思います。誤解を受けるかもしれませんが、人ごととしていたように思います。ですが、自分が歳を

重ねるにつれ、それらの報道を見ての受け止めは若い頃と大きく変わってきました。大災害でなくても、毎日のように報道される事件、事故などのニュースを聞いて最初に思い浮かぶのは、被害に遭った方のご家族のことです。「被害に遭った方のご家族は、今どんな思いなんだろう」「潰れた家屋の下にまだ家族がいる。どんな思いなんだろう。」などと思うと、ニュースを見るのが辛くなり、今回の地震のニュースも最近ではあえて見ないようにしています。どうしてこのように気持ちが変



化してきたのか、自分でもわかりませんが、もしかすると、結婚して、子どもができて、親になったということや、祖母や父、親類を亡くしたりという経験が被害に遭った方やご家族と自分の家族を重ねるようになってきたのかもしれない。

この年末年始、普段は離れて住んでいる母親を私の家に呼んで、数日一緒に過ごしました。そんなときに今回の地震が起きたので、余計に家族ということが意識させられたのかもしれない。

2学期の終業式の際にみなさんにお見せしたスライドの中に、「家族を悲しませることがないように」という言葉を入れてあったのですが、それは、何か悪いことをして家族を悲しませないようにという意味よりも、皆さんの身に何かが起こって、今回の地震・事故のように、ご家族が悲しむことがないようにという思いがあつての一文です。

新年から明るい話ではなく、申し訳ありませんが、今回の地震・事故を機会に、改めて自分の身を守るということと家族を大切にしてほしいということについてお伝えしたくて、3学期の最初のお話とさせていただきます。怪我などがなく、無事、3学期の学校生活を過ごしてほしいと思います。

以上で、私のお話を終わります。

< 学校の様子 >



← 11・12月に防災士の方や松本大学の方のご協力を得て、1、2年生を対象に「防災学習」を行いました。本校の学区は、河川に囲まれており、水害が心配される地域です。「災害はいつ起きかわからない」ことを念頭に、自分と大切な人の命を守るために、学習を深めました。

12月半ば、生徒総会が行われました。生徒の体調面を考慮し、体育館に参集での予定を急遽変更して、体育館と各教室をリモートでつないでの開催となりました。急な変更でしたが、生徒会役員は落ち着いて対応し、無事、議案が可決されました。この生徒総会を区切りに、新生徒会役員にバトンタッチされ、1月から2年生主体の生徒会がスタートしています。



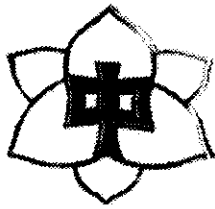
< 新人戦大会結果 >

水泳 中1男子の部 自由形 50m 27.28 優勝 自由形 100m 1:00.43 優勝(大会新)

～ 2月の予定 ～ *予定は、変更することがあります。

○公立前期選抜(1日) ○CS運営委員会③(6日) ○3年模擬テスト(8日)
○PTA総委員会(13日) ○1,2年期末テスト(15,16日)

この紙は、市役所で発生した使用済古紙を製紙機で再生したものです。



大志ゆめみん

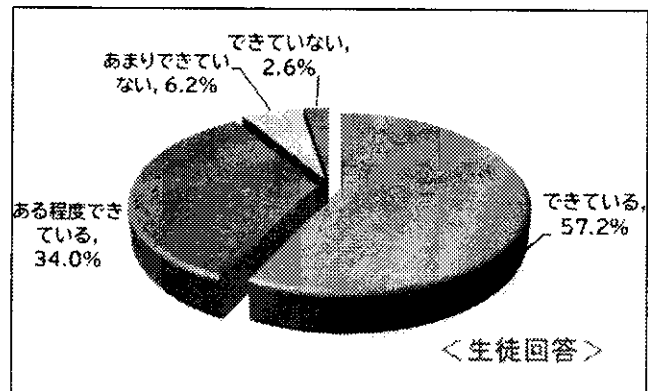
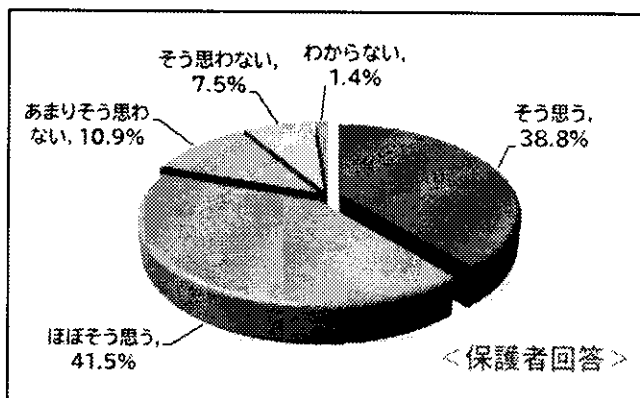


令和5年度 学校評価アンケートのまとめ

本年度の学校評価アンケートの結果がまとまりましたのでご報告いたします。保護者の皆様には、アンケートにご理解とご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。皆様の声に真摯に耳を傾け、次年度の学校運営や教科指導、生徒指導・支援に生かしてまいります。

① <保護者設問> お子さんは、楽しく、安心して学校生活を送っている。

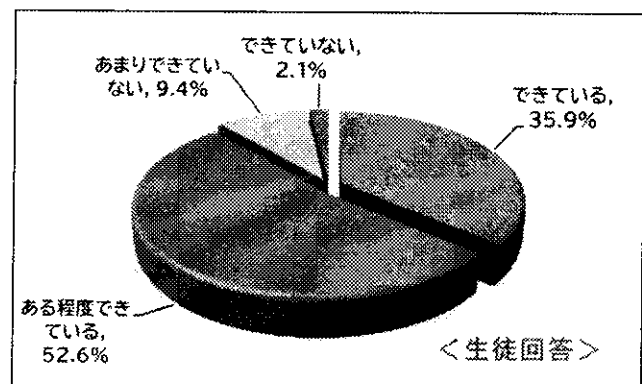
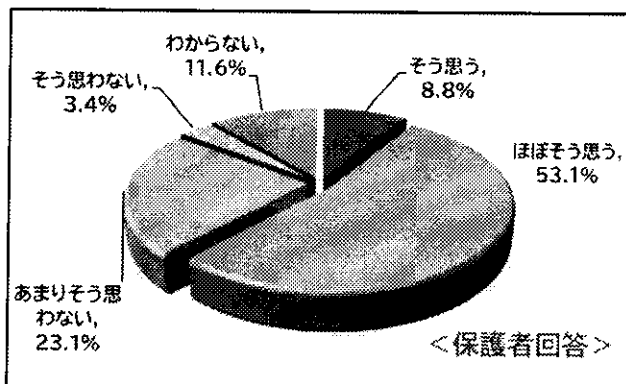
<生徒設問> あなたにとって学校生活は明るく楽しいですか。



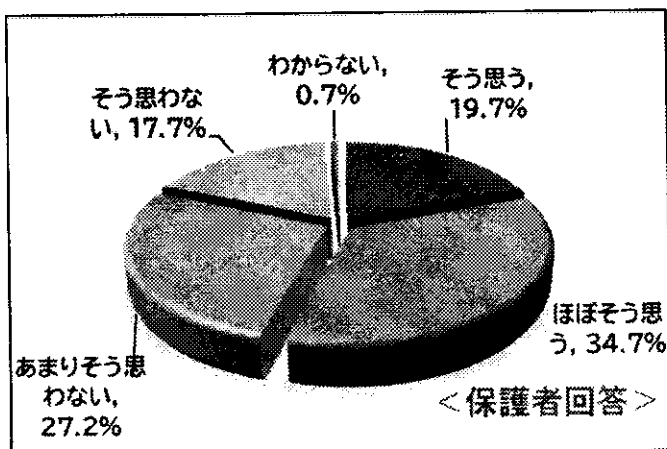
「楽しく、安心して学校生活を送っている」と回答した生徒は9割、保護者は8割を超え、保護者の皆様には日頃より学校生活の向上にご支援・ご協力をいただけていることに感謝申し上げます。しかし、学校生活に不安を感じている生徒や保護者の方がいないわけではなく、今後より一層保護者の方々と連絡を密にし、生徒やご家庭の思いに寄り添いながら、学校生活に楽しさや充実感を感じられるように、学習面や生活面、集団づくりに具体的に取り組んでいきたいと考えております。また、必要に応じて外部の相談機関を活用するなどして、すべての生徒が目標や願いをもって日常生活が送れるように、保護者の皆様と連携して生徒支援に取り組んでいきたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

②-1 <保護者設問> 学校は、わかりやすい授業を心がけ、学力向上に力を入れている。

<生徒設問> 授業内容は理解できていますか。



②-2 <保護者設問> お子さんは、家で宿題や自主的な学習等に自分から進んで取り組んでいる。



学習内容の理解については、90%近い生徒が理解できていると答えています。学習問題の理解・定着に時間がかかったりすること等により、学習に集中し意欲的に取り組むことに課題がある生徒も見受けられます。保護者の方からは、わかりやすい授業、理解が十分でない生徒への支援の充実についてご意見をいただいています。

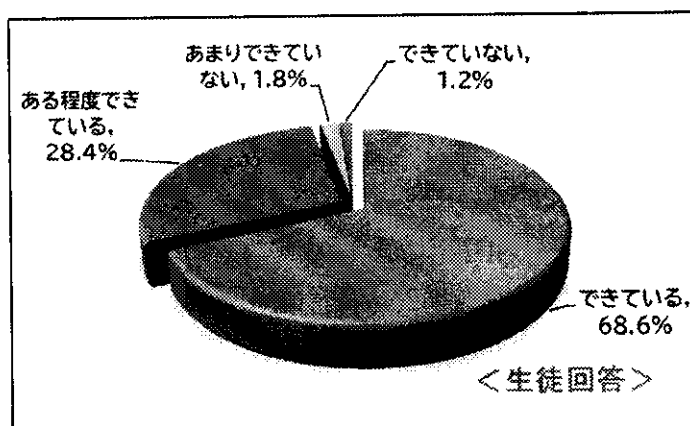
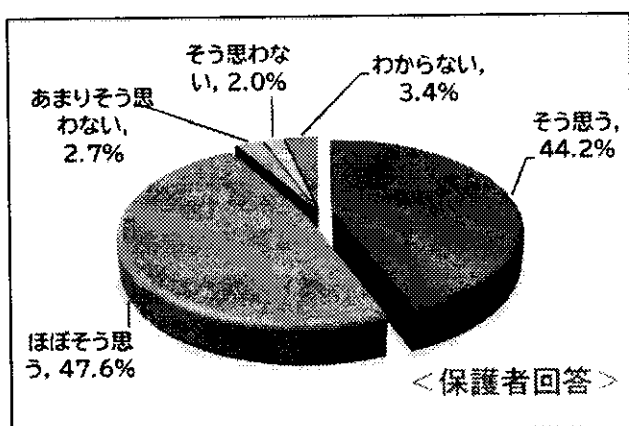
学校では教科会を中心に授業研究を進め、学力向上に向けた取組を進めてまいります。学習指導要領に

ある「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、学びの成果を実感できる授業づくりとして、生徒自らが学習問題に興味関心を示し主体的に学びを進めようとする導入の工夫、自分の考えを書く機会等を増やし、それらをもとにした話し合い活動を取り入れたり、自己内対話を進めたりすることにより自分の考えを深めたり広げたりできるような授業づくりを考えていきます。

家庭学習についての保護者の方の回答では、昨年度同様、自主的に取り組んでいる生徒とそうでない生徒が半々という状況になっています。学校としては、学習内容の定着には家庭学習が欠かせないと考えており、授業の予習、復習にどのように取り組めばよいか、各教科より助言をしていきます。また、学校生活や部活動等で、疲れている状況もあると思いますが、効果的な時間の使い方についても、学校で話題にしていきたいと考えています。

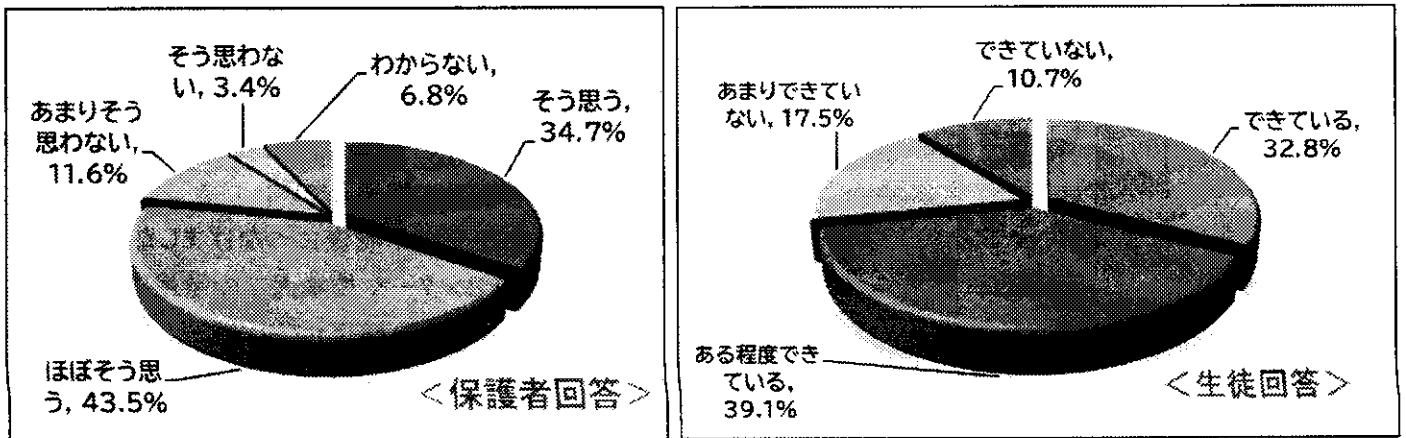
③ <保護者設問> お子さんは、集団生活に必要な約束や決まりを守って学校生活を送っている。

<生徒設問> きまりを守って学校生活を送ることができていますか。



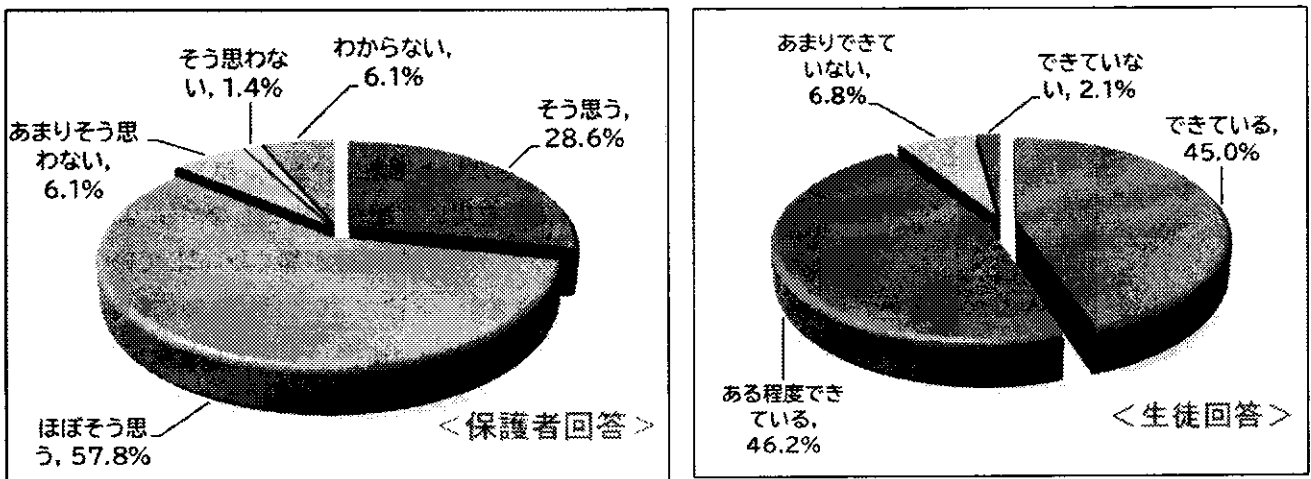
生徒にとって安心して学べる学校であるためには、約束やきまりを守って生活することが重要であると受け止めている生徒がほとんどで、「自分たちの学校生活をよりよくしたい」という姿がうかがえます。約束やきまりについては、「ある程度できている」から「できている」になるよう、さらに意識の向上を図るとともに、責任ある行動がとれる中学生として毎日の生活を送れるよう指導していきますので、今後とも地域、保護者の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

- ④ <保護者設問> 学校職員は、わが子自身のことや学校生活に関して、子どもの相談にのってくれる。
 <生徒設問> 学校で困ったとき、先生に悩みや疑問を話したり相談したりすることができますか。



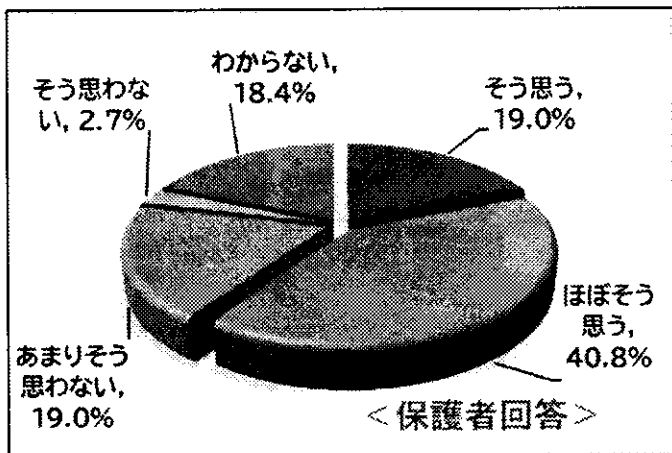
生徒の「できている」「ある程度できている」の回答が7割を超え、昨年度より大幅に増加しました。反面、「悩みはあるがあまり相談ができていない」と回答している生徒が2割近くいることから、あらためて、生徒の相談相手として必要とされる学校職員でなければならないと感じています。今後も、学校職員は生徒、保護者の皆様と良好な関係作りに努め、気軽にご相談いただけるよう、丁寧な対応を心がけていきたいと考えています。

- ⑤ <保護者設問> 学校は、学校行事や学年行事などを通して、集団作りを意識した教育活動を行っている。
 <生徒設問> 生徒会活動に関心を持ち、積極的に企画・運営したり協力したりできていますか。



日常の学校生活を含め、文化祭や学年行事等は、仲間の良さを発見・尊重し、自分の所属する集団(学級、学年、学校等)を意識する機会となります。多くの保護者の方々が、これらの活動を認めてくださっていることをありがたく感じます。集団活動において、生徒個々が自分の良さを認識し自信をもって活動に取り組み、生徒が自己肯定感や自己有用感を得られるように活動を支援していきたいと考えています。昨年度に引き続き今年度も、音楽文化ホールをお借りして、つくも祭で音楽会を行うことができました。また、生徒会では「行動皆志」をスローガンに活動を展開してきました。今後も諸活動を充実させながら、集団づくりに取り組んでいきます。

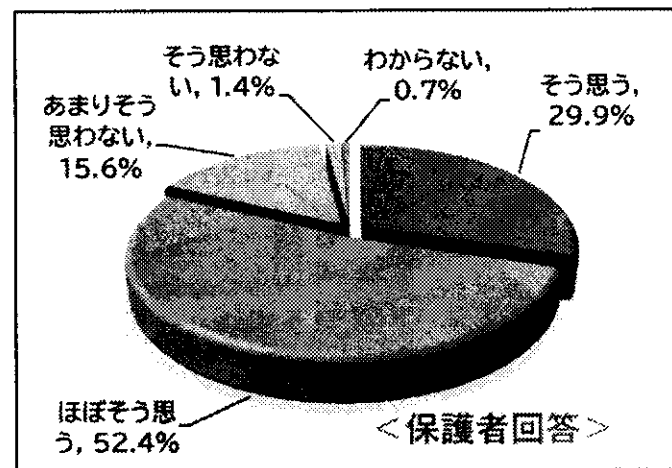
⑥ <保護者設問> 学校は総合的な学習の時間や生徒会活動において、地域との関わりを意識した教育活動を行っている。



校外から講師を招いて指導を受けながら行う活動や地域に出て行う活動は、生徒の視野を広げ、経験を積むよい機会として捉え、総合的な学習の時間の中で行ってきました。3年生の講座別学習で外部講師を招いて指導していただき、つくも祭でのステージ発表や展示発表につなげました。島内地区地域づくりセンターや松本大学の学生にご協力をいただきながら、防災学習も行いました。昨年度3年ぶりに開催した「松中生と語る会」では、民生児童委員の皆さんとコミュニティースクール運営委員の皆さん

にご出席いただき、学級の代表者が学校生活のことや地域でのことを話し合いました。夏休み中の乳幼児とのふれあい体験や夏休みの生徒の自主学習のための公民館開放等は、公民館、地域の方にコーディネートしていただいている取り組みであり感謝しております。今後も地域の皆さんのご協力をいただきながら、中学生にご支援いただくとともに、地域に貢献できる中学生として活躍できるような生徒を育てていきたいと考えています。

⑦ <保護者設問> 学校だよりや学年通信などで、学校の教育方針や生徒、学校の様子を知ることができる。



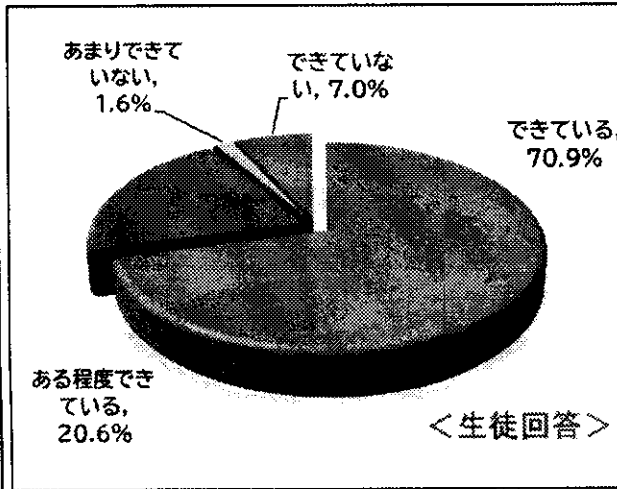
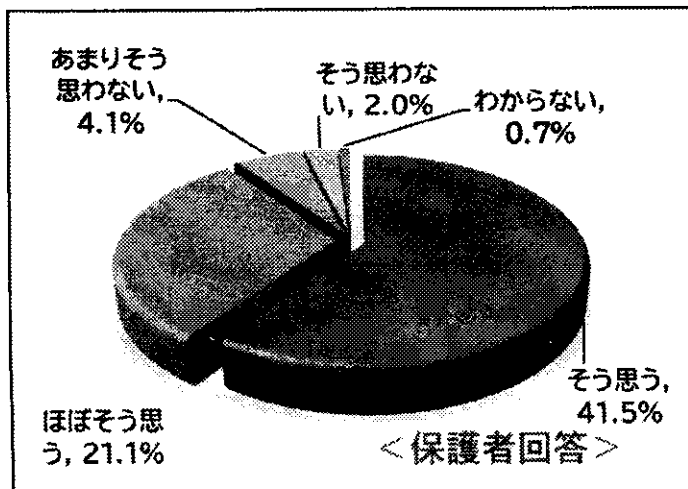
今年度も、多くの保護者の方々から肯定的な回答をいただいています。学校の教育方針や学校での生徒の様子、行事の内容について、お子さんからの話はもちろん、学年・学級通信等を通して、今後も内容がより豊かになるように工夫しながら、ご家庭への話題提供をしていきたいと考えています。紙でのお知らせとともに、H&Sを用いた配信を併用しながら、より確実に保護者の方々にお知らせが届くようにしていきたいと考えていきます。学校だよりでは、地域にも学校の様子を発信し「地域との連携」とも関わらせながら、“地域に開かれた信頼される学校づくり”を目指していきます。

⑧ (1～3年の部活動加入者のみ回答)

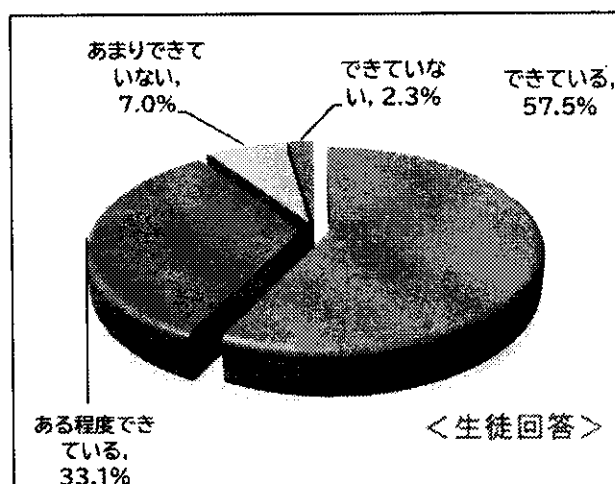
<保護者設問> お子さんは、部活動に意欲的に取り組んでいる。

<生徒設問> 部活動では、仲間と協力しながら目標を持って取り組むことができますか。

部活動を「心技体」を鍛える貴重な成長の場として、部内や個人で目標を持ち続けながら活動に前向きに取り組むことができるよう、引き続き保護者の皆様のご協力をいただきながら部活動運営をしてまいります。休日部活の地域移行やクラブチームの中体連大会への参加について等、部活動のあり方について検討されていて、その準備が本格的に進められているところですが、国や市の方針に基づき対応していきます。今後とも部活動についてのご理解ご協力をよろしくお願いたします。



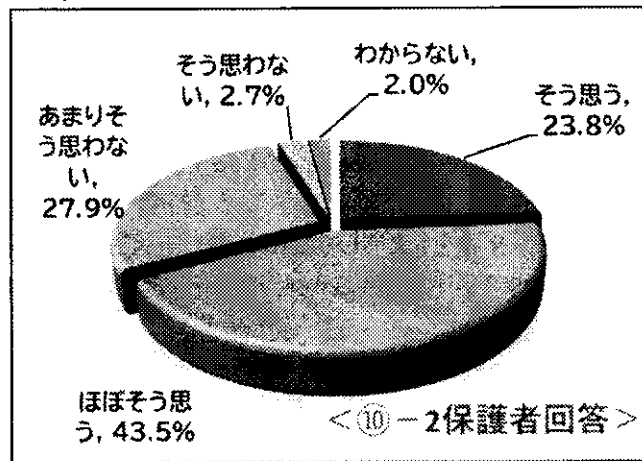
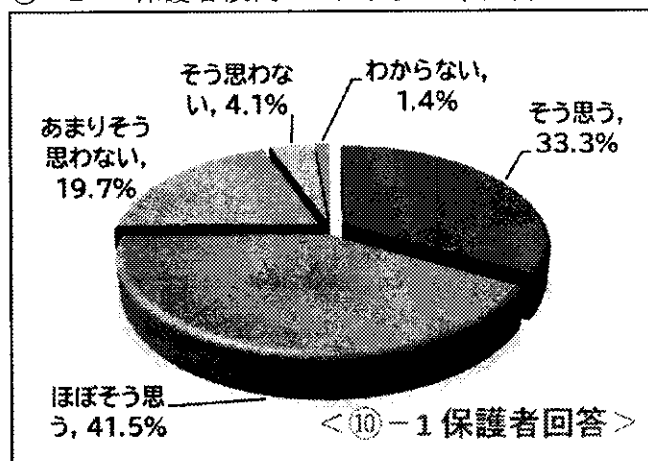
⑨ <生徒設問> あいさつは友だちばかりでなく、来校された方々にも行っていますか。



あいさつは、お互いを尊重し合い、大事にする意味合いからも、自分から先に声を発することが理想ではないかと感じています。本校においても、気持ちの良いあいさつのできる生徒が多くいます。すべての生徒が明るくあいさつができる学校づくりを目指して、生徒の意識の向上に取り組むことが重要であると考えています。保護者、地域の方におかれましても、明るい声がけについてご協力をお願いいたします。

⑩-1 <保護者設問> お子さんは、家で学校のことをよく話す。

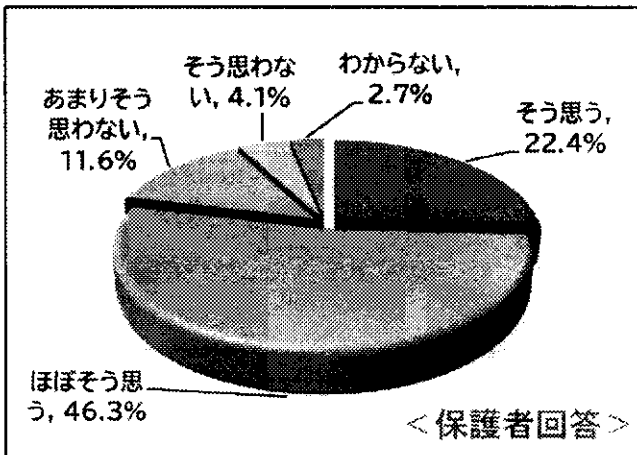
⑩-2 <保護者設問> お子さんと、日頃からお子さんの夢や将来について話をする。



思春期におけるコミュニケーションの取り方の難しさもありますが、生徒の様子等をつぶさに観察していただきながら、積極的に生徒とコミュニケーションをとっていただけると幸いです。

今後も、学校からのお便りや、生徒の学校での様子等で気になることや逆に良い点など、直接、保護者の皆様にお伝えしながら、保護者の皆様にもご支援・ご協力いただけるよう家庭との連携も密に行っていきたいと考えています。

- ⑪ <保護者設問> お子さんは、メールや SNS、ネット利用について危険性を認識し、家庭で決めた約束を守ってそれらを使用している。(お子さんがそれらを使用している環境にあるご家庭のみ回答)



多くのご家庭でメールや SNS、インターネットの利用について、何らかの約束ごとを決めて使用していただいています。使用法についてご心配を感じておられる保護者の方々も少なくありません。ネット利用については、講演会(生徒対象のメディアリテラシー講演会や新入生保護者説明会)を外部講師や松本警察署の方をお願いしています。SNS が発端となって、人間関係のトラブルに繋がる事例も増えてきています。また、利用法についても複雑化しており、指導も難しくなっています。併せて、生活のリズムが乱れることによる、昼夜逆転や睡眠不足

など、学習面や健康面も心配されます。毎年のようにお願いしていることではありますが、情報機器を与える大人の役割として、子どもたちがどんな使い方をしているのか、是非、親子で確認しあう時間を大事にさせていただくようお願いいたします。

<まとめ>

お子さんの状況を日々注意深く見守り、学校教育にご支援・ご協力をいただいております保護者、地域の皆様方に感謝申し上げます。

本校の校訓「がまん 気づき 思いやり」のそれぞれの生徒の姿は以下のようになっています。

がまん → 深く考え、公正な判断をし、自制した行動をしよう。

気づき → 力を合わせ、気づきを生かして、自分たちの課題に立ち向かおう。

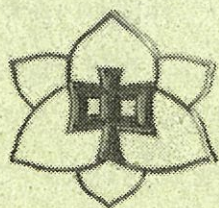
思いやり → 他を思いやり、美しさ、豊かさを自ら追求しよう。

この目標の具現に向けて、生徒自身がそれぞれに自己理解を深め、自分や周りの仲間を大事にしなが、それぞれの願いや目標が達成できるような支援を心がけていきます。また、生徒にとって明るく楽しい学校生活になるよう周囲に気を配り、生徒への支援を充実させていきたいと考えています。

今後とも保護者の皆様とは連絡を密にとらせていただきながら、それぞれのご家庭の思いに寄り添い、相談させていただいたり学校生活へのご支援をお願いしたりする場を多くしていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

～ 3月の予定 ～ *予定は、変更することがあります。

- | | | |
|-----------------|------------------|---------------|
| ○公立高校後期選抜(6,7日) | ○1年クラスマッチ(6日) | ○2年性教育講演会(6日) |
| ○2年クラスマッチ(7日) | ○3年クラスマッチ(8日) | ○生徒総会(11日) |
| ○3年生を送る会(12日) | ○3学期終業式・離任式(14日) | ○卒業証書授与式(15日) |
| ○新2,3年生登校日(28日) | | |



大志ゆめみん



令和5年度卒業証書授与式 学校長式辞

その歩みはゆっくりとしたものですが、ここ松本平にも着実に春の訪れが感じられる、そんな温かくやさしい季節となりました。本日、ここに、令和五年度の卒業証書授与式を挙行できますことを在校生、職員、保護者の皆様方と一緒に喜びたいと思います。

まずは、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの前には、松島中学校を卒業した一万人もの同窓の先輩方がいます。その伝統の重みと誇りを胸に、今日、この母校を巣立って欲しいと思います。

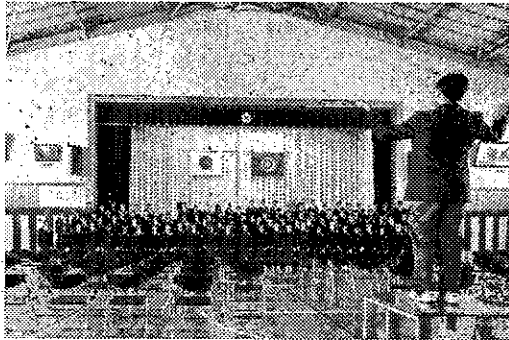
五月に新型コロナウイルス感染症への対応が緩和され、少しずつ、コロナ以前の学校生活が戻ってきました。ですが、すぐに数年前の姿に戻るわけではなく、コロナ禍をきっかけにやり方を見直した行事や新たな姿と変わったものもあります。その中には、「行動皆志」をスローガンとし、取り組んできた生徒会活動もあります。中でも、私は、つくも祭の時の生徒会企画が思い出されます。企画案を最初に聞いた時は、「こんなことできるのだろうか」と思いました。しかし、生徒会正副会長と給食と一緒に食べながら考えや願いを聞いたり、校長としてこうしてほしいという要望を出して話し合ったり、それに応えて改善案を提案してもらったりを何度か繰り返し、つくも祭本番を迎えました。結果、生徒会企画は、とても盛り上がり、楽しそうな皆さんの笑顔が今でも思い出されます。これは、前例にとらわれず、新たなものを作り出そうという生徒会の思いが実を結んだものだと思います。

また、卒業生の皆さんは、学年の後半に向け、クラスのまとまりが強くなり、つくも祭での運動会や音楽会、さらにその後の学校生活においても、最上級生らしい姿を、「底力」を見せてくれました。皆さんから改めて、中学生のもつ力のすごさ、たくましさを教えてもらいました。先輩の役割というのは、後輩に、「憧れ」を抱かせることではないかと思います。先輩のたくましい姿、豊かな発想、目標に向かって歩み続けるひたむきさ。そういう先輩の姿を見て、「ああいう先輩に自分もなりたい」という「憧れ」を後輩たちがもつようになれば、先輩としての役目を十分に果たしたと言えると思います。そして、皆さんは、後輩に「憧れ」を抱かせる先輩であったと思っています。

さて、そんな皆さんも九年間の義務教育を終え、自分自身が決めた進路を進むこととなります。その歩む先がどのような社会であるかは、不透明です。皆さんが将来就きたいと願ってる職業も、数年先には無くなっているかもしれない。そんな社会になってきています。その社会で生き抜くためには、私は「自ら考える力」が大切だと思います。問いは無限にあり、答えは一つではないかもしれません。だからこそ、考え続けていくことが求められます。ですが、一人だけで考え込む必要はありません。困ったとき、行き詰ま

ったときには、皆さんの周りには、家族や友だち、地域の人、応援してくれる人。仲間がいます。周りの人を頼りましょう。周りの人と話しましょう。そうやって、たくさんの人の応援を支えに、自信をもって、それぞれの道を歩んでください。そして、これからの時代を、しっかりと生きてほしいと思います。

終わりにになりましたが、保護者の皆様方、本日はお子様のご卒業、おめでとうございます。この三年間の本校の教育活動へのご理解とご協力に心から感謝申し上げます。本日をもって、お子さんは、九年間の義務教育課程を卒業し、自らが選んだ道を歩み始めます。保護者の皆様にとっては、まだまだ危なっかしい所もあることと思いますが、お子さんを信じて、少し離れてその歩みを見守ってください。子どもたちは親が思う以上に、たくましく成長しています。手を貸すのは、お子さんがそれを求めたときだけでいいのだと思います。これからのお子さんの成長を私たち職員も少し離れたところから見守り続けたいと思います。



「卒業生の歌」の様子

また、本日、この場にはいらっしやいませんが、日頃より本校へのご支援をいただいております、松本市、松本市教育委員会、そして地域の方々へも、心から感謝申し上げます。今後とも、本校へのご支援をいただきますようお願い申し上げます。

以上をもちまして、卒業生の皆さんの前途に幸多からんことを祈念し、式辞といたします。

令和六年三月十五日

松本市立松島中学校長 阪口和彦

＝ 保護者、地域の皆様へ ＝

日頃より、本校の教育活動に、ご支援とご理解をいただき、ありがとうございました。おかげさまで、本日、117名の卒業生が、それぞれが選んだ進路へ向けて、本校を巣立ちました。まだ成長過程の子どもたちです。目を離さず、心を離さず、見守り続けていただけたらと思います。

この一年、皆様方にはご心配をおかけすることもあったかと思えます。そういったときに、「できることがあったら、何でもやりますから、こえをかけてください」と言ってくださる保護者、地域の皆様方がいらっしやいました。心強く、ありがたいお言葉でした。心から感謝申し上げます。

今年度一年、ありがとうございました。

＝ 年度末人事で、松島中学校を去る先生方 ＝

以下の先生方が、令和5年度末人事異動等で、松島中学校での勤務を終えられます。

本校での勤務に長短はありますが、本校の教育活動にご尽力いただきました。心からの感謝を申し上げるとともに、新天地でのますますのご活躍を祈念いたします。ありがとうございました。

上原 貴子 (国語)	明善中学校へ	北條 龍司 (社会)	松本養護学校へ
金子 貢淑 (国語)	開成中学校へ	宮坂 康平 (数学)	信大附属松本中学校へ
久保田 翔 (保体)	高綱中学校へ	宮坂 豪人 (初任研)	菅野中学校へ
浜田 康貴 (理科)	鎌田中学校へ	トム・テイラー (ALT)	退職
福海 佳恵 (事務)	本郷小学校へ		

(敬称略)